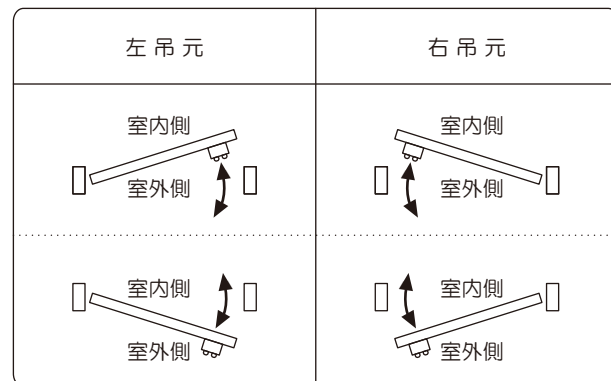


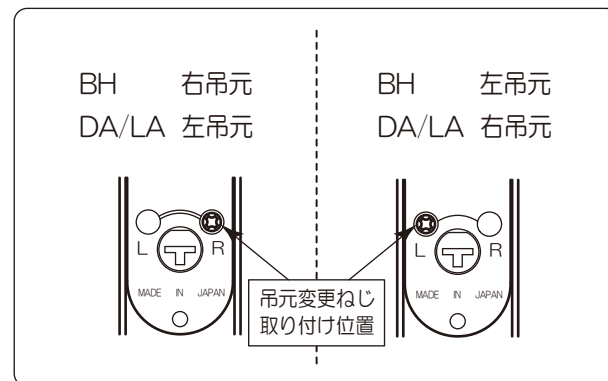
吊元と吊元変更ねじの確認

【１】下図で扉の吊元を確認します。



【２】①キーレックス本体裏の吊元変更ねじが下図のように
なっているかを確認します。

吊元変更ねじを入れ替えたら、しっかりと締め付けます。

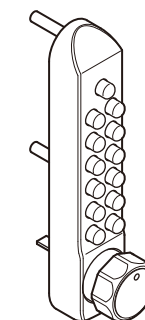


KEYLEX[®] 500

KL500
MIWA (BH・DA/LA)
シリンダー取替

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22270

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈 記 憶 番 号 の 記 録 〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

記憶番号設定に関するご注意

- KL500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。

注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - テッドラッチ、テッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

NAGA
SAWA

株式会社 長沢製作所

東京支店	TEL. 03-5383-1811 (代)	福岡出張所	TEL. 092-524-7031 (代)
	FAX. 03-5967-3103		FAX. 092-524-7032
大阪支店	TEL. 06-6783-5091 (代)	札幌出張所	TEL. 011-583-3575 (代)
	FAX. 06-6783-5092		FAX. 011-583-3572

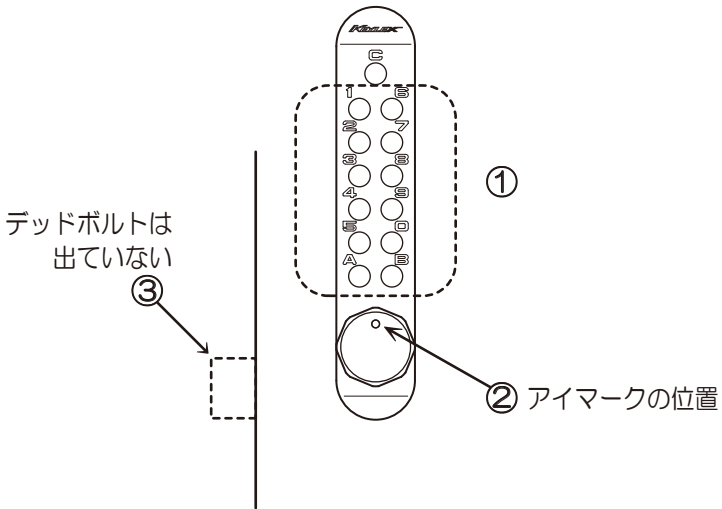
基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に変わります。

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが
図の位置（真上）にある
- ③ デッドボルトが錠に収まっている

※ 図は右吊元仕様です



室内側

室外側

施錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが収まり、解錠されます

施錠

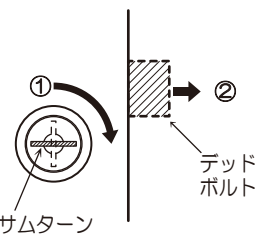
- ① ロックターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠

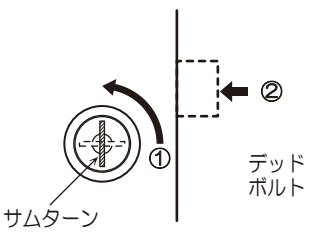
- ① C ボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ ロックターンを回しきります（アイマーク：ヨコになる）
- ④ デッドボルトが収まり、解錠されます
- ⑤ ロックターンを90° 元に戻します（アイマーク：ヨコ→タテ）

BH

施錠

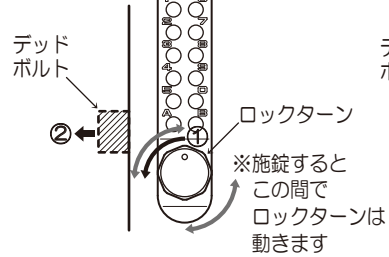


解錠

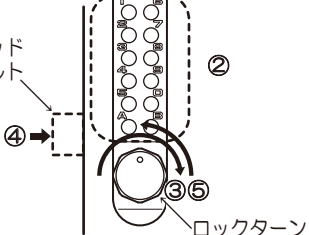


BH

施錠

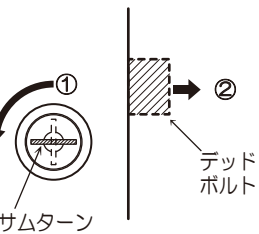


解錠

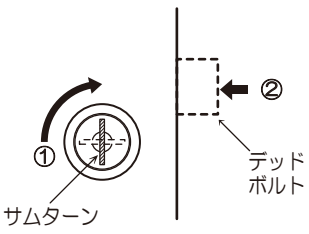


DA/LA

施錠

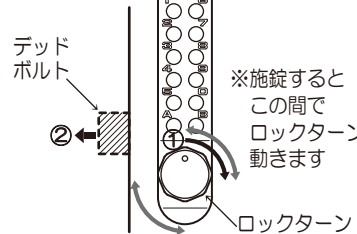


解錠

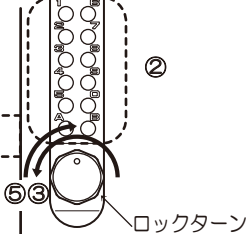


DA/LA

施錠



解錠



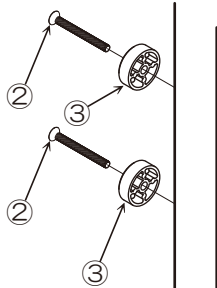
※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

記憶番号の変更手順

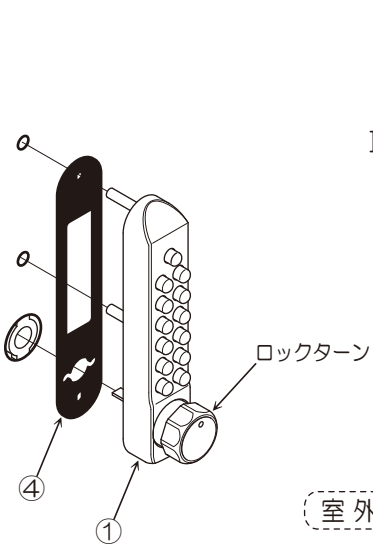
【１】キーレックス本体を取り外します

錠のデッドボルトが収まっている状態で取り外します。
取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。

室内側



デッドボルト



室外側

本図は右吊元仕様

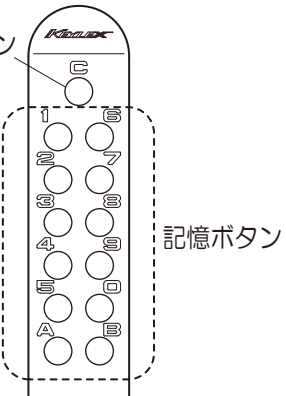
- I：①キーレックス本体の落下に注意しながら、
②本体固定ねじをはずします。
- II：①キーレックス本体、③室内丸座、④樹脂ベースを
取りはずします。

【２】記憶番号の設定変更をします

- ①本体表側の **C ボタン** を押します。
⑤まで、記憶ボタンは押さないで
ください。
- ②本体を裏側にし、記憶されている
ロックピンを回転させ
（ロックピンの横溝を外側にする）
すべてをクリアします。
- ③新規に記憶する番号を必ず記録します。
本紙裏面に記入欄があります。
- ④新しい記憶番号のロックピン横溝を
中央部の横溝にあわせませう。

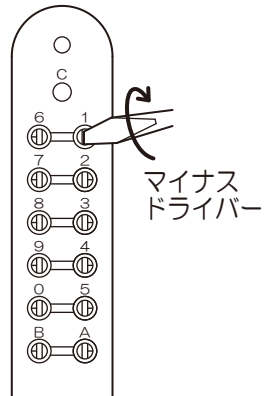
※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する
場合があります。必ず押してください。

C ボタン

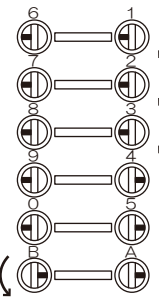


本体表側

本体裏側



例：B 1 2 3



- ⑤新しい記憶番号を押し、ロックターンが
確実に作動することを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【３】本体を取り付けます

【１】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。
正しく作動しない場合は、記憶番号と吊元変更ねじの確認をしてください。